

ホームページ

- asahiglobal.co.jp
- gloval-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com



アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役  
文/久保川 議道  
text:Yoshimichi Kubokawa

## 私の楽しい思い出。それは『寮生活』でした。

私は三重県で生まれて中学を卒業して、高校からは岐阜県の全寮制の学校に入学させられました。それから寮生活の始まりで、千葉県の大学へ入った時も寮生活でした。何か悪い事をしたから入れられた訳ではありませんね。親の方が勝手に「かわいい子供には旅をさせろ」「他人の飯を食わせろ」で、まあ、教育熱心だったとお考え下さい。

しかし私にとっては、たまったもんじゃないよ、お父さん。てな感じで、うら若き純心な15才の子供が、コワイ先輩達のウジャウジャいる男子寮に入られたのですから……。

もうこれで人生が終わってしまいうな程でした。毎日毎日、朝6時の起床から始まって、掃除、洗濯、夜食の準備と先輩達のマッサージなど、完全に「丁稚奉公」でした。何回逃げ出そうと考えたか数知れず、人生で第二回目の「辛い日々」の始まりです。しかし、私にもこの寮生活を体験していなければ、今の会社経営もできなかったと思います。また、人のお役に立つ仕事をする事の楽しさも分からなかったでしょう。うね。それは何故かと言うと、「人

は一人では生きてゆけないこと」「一人にしたことは、自分に必ず返ってくること」「少し自分の事は後回しにして、人のためを考えれば、いい人間関係ができること」その他いっぱい、この寮生活で体験して学んだんですね。

一番良かったことは、「楽しかったこと」です。同じ年齢の人達が、ご飯をいっしょに食べて、お風呂に入って、みんないっしょに、二つの建物で生活するのですから、だんだん楽しくなつて、今では忘れられない思い出です。一生の友達も何人もできて、当然、40年過ぎた今でも、「あの頃」のまま楽しくつきあっています。

ところで、介護付老人ホームの「ゴールドエイジ」は私のこの「寮生活の体験」から誕生した事をご存知でしょうか？ 2004年の7月に私とデザイナーの先生と2人で設計しました。その時、私達2人は、「私達がここに一生住んで、ここで死んでもいい!!」と思う、老人の住宅を作るんだと決心したんですね。それで、安全で事故がなく、経済的にも安心な、専門の設備と専門の介護技術者の居るゴールドエイジができたのです。そして、私は「楽しい生活」を

高齢者の皆さんにしていたくために、ゴールドエイジを「寮生活」にしようと考えた訳です。ここは看護師も居ますが病院ではありません。ヘルパーも居ますが施設でもなく、有料老人ホームでもありません。ここは住宅ですね。年齢の似た人達がみんないっしょに生活している寮の様なものです。

「楽しい、寮生活」をゴールドエイジで実現するんだと、私は勝手に考えてやっているので、きつと入居者の皆さんにとっても「楽しい生活」になっているのではないのでしょうか。その証拠に、家に居る時は、人とも会わずに、歩行器や車椅子を使っていた人達が、一人で歩ける様になつて、新しい友達もできたり、楽しくしゃべりしていただくと、私も本当に嬉しくて、やって良かったと思います。

私は高校の時も、大学の時も「寮長さん」でした。今回はゴールドエイジの寮長さんになった気持ちで、入居者の「楽しい生活」のお世話をさせていただきます。今年中に全国のゴールドエイジに約400人程の高齢者が入居されますが、私、寮長を今後共宜しくお願い申し上げます。